

「一帯一路」シリーズ

第 22 回 シルクロード基金 ~ AIIB との比較から ~

「一帯一路」構想を資金面で支える主要機関として、前回の「一帯一路」シリーズで取り上げたアジアインフラ投資銀行(以下、AIIB)のほかに、シルクロード基金があります。「一帯一路」シリーズ第 22 回目の本稿では、AIIB との比較を通じたシルクロード基金の特徴、足許の動きなどを簡単に纏めます。

位置付け

AIIB が複数の国の出資で設立された国際開発金融機関(以下、MDB)であるのに対し、シルクロード基金は中国が独自に創設した基金です。資本金は、一部を外貨準備で賄っているほか、政府系ファンドの中国投資有限責任公司、政策銀行である中国輸出入銀行、国家開発銀行が拠出。投資原則に記されている「株主利益を守る」という点などにおいて、自国のための機関という色彩が濃いのが特徴です。

当初発表の授權資本は 400 億米ドルでしたが、2017 年 5 月に開催された「一帯一路」国際会議で、習近平・国家主席が 1,000 億元(約 160 億米ドル)を追加出資すると表明。追加出資は人民元建てのため、資本増強だけでなく、通貨の多角化にも寄与すると期待されています。

一方、AIIB の授權資本は 1,000 億米ドル¹。加盟国・地域は 84 に達し、MDB として国際ルールに則った運営を実施しています。

設立目的

シルクロード基金の設立目的は、「一帯一路」構想枠組み下の協力プロジェクトを推進することで、「一帯一路」構想を支援する機関である旨が明確に記されています。これに対し、AIIB は、アジア地域のインフラ整備支援が主な目的で、「一帯一路」に特化した機関ではなく、シルクロード基金と性質や目的を異にします。

表 1: AIIB とシルクロード基金の概要

	AIIB	シルクロード基金
設立	2015 年 12 月 (営業開始は 2016 年 1 月)	2014 年 12 月
目的	インフラ施設及びその他生産性分野への投資を通じて、アジア地域の持続可能な経済成長、富の創出、インフラネットワーク化の改善を促進	「一帯一路」の枠組の下での経済貿易協力及び多国間の連携に対して投資・ファイナンスを提供して支援
	その他の国際開発機関と連携し、地域協力及びパートナーシップ関係を推進	国内外の企業、金融機関とともに、中国及び「一帯一路」沿線国・地域との共同发展、繁栄を促進
位置付け	国際開発金融機関(MDB)	中長期の開発投資ファンド
授權資本	1,000 億 USD	400 億 USD(2017 年 5 月に 1,000 億 RMB 追加出資の方針示される)
出資者	加盟国・地域	国家外貨管理局、中国投資有限責任公司、国家開発銀行、中国輸出入銀行
投融資件数	24 件	17 件
投融資額	約 43 億 USD	約 70 億 USD

(出所) 各ウェブサイトの公開情報等を基に作成

¹ 2017 年 12 月 19 日時点の応募済資本は約 950 億米ドルです。

投融資

投融資実績は 17 件で、金額は約 70 億米ドルにのぼります²。一方の AIIB は 24 件、約 43 億米ドルで、金額ベースではシルクロード基金が AIIB を上回っています。

投資方法は、貸付が主体の AIIB に対し、シルクロード基金は中長期のエクイティ投資が中心で、投融資全体に占めるエクイティ投資の比率は 70% 超。中長期 (10 ~ 15 年) のインフラ整備需要に対応する方針が示されています。主な投融資分野は、「一帯一路」建設におけるインフラ、資源開発、産業設備協力、金融で、うち産業設備協力には、「一帯一路」構想の狙いの一つとされる中国の余剰設備の輸出などが含まれます。

投資原則は、融合性、効率性、協力性、開放性の 4 つ (表 2) を掲げ、投融資案件は、「一帯一路」戦略、そして投資原則に沿った内容となっています。例えば、第一号の投資案件であるパキスタンの水力発電プロジェクトは、新疆ウイグル自治区・カシュガル市とパキスタン・グワダル港を結び「一帯一路」の旗艦プロジェクトとして位置付けられている「中国-パキスタン経済回廊」で、優先的に実施されるエネルギープロジェクトとされています。また、ロシア・ヤマル半島の液化天然ガスプロジェクトは、ロシア北極圏資源開発のモデルプロジェクトとして位置付けられています。さらに、カザフスタン当局との生産設備・能力の連携を目的とした専門基金の創設では、「一帯一路」構想とカザフスタンの経済政策「光明の道」との融合を実現させるとの目標が示されています。

中国企業の対外進出支援でも大きな役割を發揮しています。例えば、ハルビン電気集団のドバイの Hassyan クリーンコール発電所プロジェクト向け支援では、長期にわたって欧州や米国、日本、韓国が主導してきた中東の電力市場に中国企業が参入を果たした案件とされています。

* * *

シルクロード基金の金崎・董事長は 2017 年 5 月、中国人民銀行の機関誌である『中国金融』³の中で、従来の中国の金融機関の海外業務について、「貸付が中心で、エクイティ投資は経験が浅く、関連の政策や監督管理ルールの整備、弁護士、会計士などの関連仲介サービス機関の発展が相対的に遅れている」と指摘。シルクロード基金が対外投資で使用している専門サービスは「外資機関が多い」と述べています。このほか、リスク管理や人材育成など、なお課題は少なくないようですが、今後、シルクロード基金が「一帯一路」構想を支える中国の機関として国際社会でどのような立ち位置を築いていくのか、そして投融資案件がどのような果実を結ぶのか「一帯一路」構想実現を占う試金石の一つになるといえるだけに、AIIB の動向とともに注視していく必要があります。

表 2:シルクロード基金の投資原則

融合性	「一帯一路」構想枠組み内での需要を優先的に支援し、投資する国・地域の発展戦略・計画との融合性に注力する
効率性	市場化の原則を堅持し、効率的なプロジェクトに投資し、中長期の合理的な投資利回りを実現し、株主利益を守る
協力性	国際的な市場ルールを守り、中国及び投資する国・地域の法律・法規を遵守し、環境保護及び持続可能な発展に注力する 他の金融機関、企業と強みを相互補完しウィンウィンの関係構築を目指す
開放性	目標を共有できる投資者の加入を歓迎し、傘下の基金との協力を奨励する

(出所)シルクロード基金公開資料を基に作成

² 2017 年 12 月時点

³ <http://www.silkroadfund.com.cn/cnwap/25394/25396/34988/index.html>

表3:シルクロード基金の動向

2015年	4月	パキスタンの水力発電プロジェクトへの投資で中国三峡集団等と覚書締結	水力発電プロジェクトに参画する中国三峡集団の三峡南亜公司に世界銀行傘下のIFCと出資。同時に、中国輸出入銀行、国家開発銀行、IFCと協調融資
	6月	伊タイヤメーカーのビレリ買収で中国化工集団と協力協定締結	中国化工集団の傘下企業である中国橡膠国際控股(香港)への出資を通じてビレリの株式を取得
	9月	ロシア・ヤマル半島の液化天然ガス(LNG)プロジェクトの一部権益取得で露ノバテックと枠組協定締結	ロシアのノバテックから9.9%の株式取得で合意(2015年12月にLNG一体化プロジェクト取引協定締結。9.9%株式取得のほか、当該プロジェクトに総額7億3,000万ユーロを貸し付けることでも合意)
	9月	ロシア開発対外経済銀行(Vnesheconombank、略称VEB)、ロシア直接投資基金(RDIF)と協力の覚書締結	ロシアのインフラや産業協力、電力、エネルギー等の分野において共同で投資プロジェクトを実施
	12月	中国輸出信用保険と「一带一路」戦略サービス及び企業の「海外進出」の協力枠組み協定締結	共同で「一带一路」建設の金融支援を強化するとともに、中国企業の「海外進出」を促進
	12月	カザフスタン輸出投資庁と(生産設備・能力分野の協力に向けた専門基金創設に関する枠組み協定)締結	専門基金にシルクロード基金が20億米ドルを拠出。中国とカザフスタンとの間の生産設備・能力分野における協力及び関連プロジェクト投資を中心に支援
	12月	カザフスタンの国営持株会社バイテレクと協力の覚書締結	双方の資源を活用し、株式取得や貸付などを通じて、生産設備・能力やイノベーション、IT等の分野で協力の機会を模索
2016年	1月	アラブ首長国連邦(UAE)及びエジプトでの電力発電所の投資・開発でサウジアラビア電力事業会社 ACWA Power と覚書締結	ACWA Power と共同で、UAE 及びエジプトのクリーンエネルギー電力発電所に投資、開発
	6月	グリーンエネルギー利用に関する協力枠組み協定に独廃棄物発電の EEW エナジー・フロム・ウェスト、中国の北京控股と三者で締結	EEW に出資。同時に、関連機関と協力し、中国、ドイツをはじめとする欧州諸国での廃棄物処理関連の環境保護事業や先端技術や管理経験の中国への導入を支援
	6月	欧州復興開発銀行(EBRD)と協力覚書締結	情報交換等を通じて共同で投資機会を模索するとともにシナジー効果の最大化を図る
	6月	セルビアでの新エネルギープロジェクト投資で葛洲壩集団等の中国側コンソーシアムとセルビア政府との間で覚書締結	中国側コンソーシアム、セルビア政府と共同で水力発電や風力発電等の再生可能エネルギー分野プロジェクトにおいて協力推進
	11月	ロシア石油化学大手のシブールの少数株式取得で枠組み協定締結	国家開発銀行を含む中国側のコンソーシアムがシブールの少数株式取得
	11月	FC Value Trail Fund Project への資本参加で仏 FC Global Group、中国国際金融、アムンディ・アセットマネジメントと合意	FC Value Trail Fund はフランスをはじめとする欧州諸国の発展潜在力を秘めている優良企業、科学技術、医療、環境保護等の新興産業を含む重点投資分野に投資するファンド。当該ファンドへのシルクロード基金の参画は、ファンドと欧州企業、中国市場との間の橋渡し役に寄与
	12月	ロシアの SIBUR と、SIBUR の株式 10% を取得することで合意	2016 年における中国の対ロシア投資で最大規模。中国とロシアのエネルギー協力促進狙う(2017 年 1 月に取引完了)
2017年	3月	欧州投資基金(EIF)と投資促進に関する覚書締結	共同で中欧共同投資基金を設立。「一带一路」構想と「欧州投資計画(ユンケル・プラン)」の連携推進に向け、欧州や「一带一路」沿線国の中小企業と、中国との協力を支援。当初の規模は5億ユーロ
	6月	上海協力機構とパートナーシップに関する覚書締結	上海協力機構の加盟国(中国、ロシア、カザフスタン、キルギスタン、タジキスタン、ウズベキスタン、パキスタン、インド)と共同で、域内での多角的な投資を推進
	7月	イタリアの高速道路運営会社・アウストラードの株式 5% 取得	国際的なインフラ施設運営会社との協力関係を確立し、世界的なインフラ投資の礎に
	11月	米 GE 傘下の GE エナジー・ファイナンシャル・サービスとエネルギーインフラへの投資プラットフォーム設立で合意	共同で「一带一路」沿線国・地域の電力や新エネルギー、石油・ガス分野への投資を推進

(出所)シルクロード基金の公開情報を基に作成

(執筆:株式会社三井住友銀行 コーポレート・アドバイザー本部 香港グループ)

本誌内容に関するご照会は、お取引店までご照会ください。